

## 8 センタールーフの重ね葺き工法

### 8-3 センタールーフの設計施工基準

#### 1) 各工法の下地組み

- センタールーフはリフォームの工法に応じて下表の下地組みが必要です。
- 野地板は耐水合板(普通合板1類、構造用合板特類または1類)厚さ12mm以上です。
- 葺き替え工法の場合で、既存の野地板が腐朽しているときは必ず野地板を張り替えます。
- 既存屋根にすがもれなどの不具合が発生していないことを確認のうえ、センタールーフを施工します。

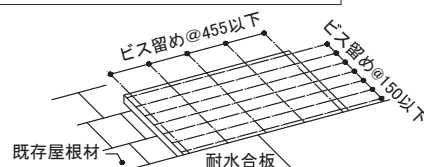
#### ①重ね葺き工法

	重ね葺き工法	
	直葺き施工	耐水合板施工
センタールーフ	既存屋根材をかいして 既存垂木に留め付ける	既存屋根材の上に新規野地板(耐水合板厚み 12mm)を重ね張りし、その上から留め付ける(※)

#### ※重ね葺き工法 耐水合板の施工

耐水合板(厚み12mm)は、ウマ張りに割り付けます。

ステンスタップビス(φ4mm×60mm以上)を使用し、流れ  
方向150mm以下、桁方向455mm以下の間隔で留め付けます。



#### ②葺き替え工法

	葺き替え工法	
	直葺き施工	耐水合板施工
センタールーフ	既存屋根材を剥がして 既存野地板に留め付ける	既存屋根材を剥がして新規野地板 (耐水合板厚み12mm)に留め付ける

#### 2) 勾配・流れ長さの基準

- 下葺材は下表のように既存屋根葺き材の種類、屋根勾配、流れ長さに応じて施工します。

#### ①重ね葺き工法(直張り施工)の場合

勾配	2. 5寸以上3. 5寸未満	3. 5寸以上
流れ長さ	10m以下	13m以下
捨て板(BYS2F00A)	要(全段)	不要
既存屋根が 石綿を含まない場合	＜重ね葺き仕様＞(※1) 片面粘着層付き	
既存屋根が 石綿を含む場合	＜『あんしん』屋根カバー工法＞(※2) アスファルトルーフィング940または 改質アスファルトルーフィング	＜『あんしん』屋根カバー工法＞ アスファルトルーフィング940または 改質アスファルトルーフィング

※1既存屋根材がアスファルトシングルの場合、既存屋根材の表面状態により、十分な接着が得られない場合があるため、必要に応じて板金、釘などを用いて下葺材を仮留めします。

※2緩勾配(P143)をご参照ください。

#### ②重ね葺き工法(耐水合板施工)および葺き替え工法の場合

勾配	2. 5寸以上3. 5寸未満	3. 5寸以上
流れ長さ	10m以下	13m以下
捨て板(BYS2F00A)	要(全段)	不要
重ね葺き工法 (耐水合板施工) および 葺き替え工法	＜防水強化仕様＞ 片面粘着層付き 改質アスファルトルーフィング、 アスファルトルーフィング940、 改質アスファルトルーフィング	＜一般施工仕様＞ アスファルトルーフィング940または 改質アスファルトルーフィング